

柿沼同志—五同志虐殺を許さない

2/9 柿沼忠同志虐殺、女性同志虐殺未遂 17カ年報復！

反革命木元グループを解体・根絶しよう！

全国反戦青年委員会・全日本学生自治会総連合(伍代委員長)

東京都杉並区下高井戸 1-34-9 03-3329-0165/0168 <http://zengakuren.info>

2000年2月9日神奈川県内の真鶴駅ホーム上でプロレタリア統一戦線の誇るべき先達であり、木元グループによる脱落—革命党・軍破壊と最先頭で闘いぬいていた同志柿沼忠と女性同志が木元グループ白色テロリストにより襲撃—虐殺された。

同志は同行の女性同志とともに白刃を振りかざす3名の襲撃下手人と身体を張って攻防しぬいた。反革命の刃に怒りをみなぎらせ反撃するなか無念の死に斃れた。女性同志は瀕死の重傷を負わされ小田原市内の救急病院に搬送された。

本年をもって虐殺から17年が経過する。反戦青年委員会と全学連は追い詰められた反革命どもによる2名の同志に対する虐殺・虐殺未遂への怒りを片時たりとも忘れたことがない。必ずや虐殺下手人どもに報復の鉄槌をうちおろす。そして山田・土肥ら反革命中枢を革命的テロルで打倒し柿沼同志を含む五同志虐殺、女性同志虐殺未遂への報復戦を貫徹し、反革命木元グループを解体・根絶することを決意もあらたに宣言する。

◆革命者虐殺に手を染めた木元グループを許すな

柿沼同志は、70年代以降プロレタリア統一戦線に結集し実力闘争・武装闘争の最先頭で闘いぬいてきた。80年代初頭に全学連副委員長として革命的学生運動を牽引した期間を除き、全活動を非公然領域における熾烈な攻防に据えつけ闘ってきた。

1973年9・14—15 横須賀への原子力空母入港阻止闘争を闘う為に神奈川県に集結したプロレタリア統一戦線に反革命革マルが官許の襲撃をかけてきた。これを一つの契機としながら革マルとの党派闘争は反革命との倒すか倒されるかの死闘戦へと転換していく。このなかで同志は、反革命革マル解体・根絶戦の最先頭への決起を開始する。以降一貫して階級闘争の先端的な闘いを担い、非公然の活動領域を革命運動にとって不可分のものとすべく奮闘してきた。

党派闘争・権力闘争—建軍闘争の前進への揺ぎ

無い確信と労働者大衆・人民の革命的決起への信頼に裏打ちされた同志の闘いは山田・土肥らのミニスターリン主義的軍事路線とは真逆のものだ。それゆえに白色テロリストどもは、同志の闘いを恐れ、憎悪し衆人環視もはばかることなく虐殺の刃を同志の胸に突き立てたのだ。

反戦と全学連は、この官許の襲撃・虐殺を許したことの痛苦さを幾重にも噛み締め、報復戦を必ずや貫徹する。反革命による同志虐殺を許したまま革命派を名乗る資格はない。柿沼同志—五同志虐殺に手を染めた木元グループを解体・根絶するまで闘い抜く。

最後の瞬間まで同志を気づかい、重傷を負わされた女性同志に励ましの言葉をかけ続けた柿沼同志の革命的共同性に貫かれた闘いと生を決して忘れない。全力で引き継ぎ我がものとして闘う。

◆権力、資本の手先に転落した反革命集団を解体・根絶しよう

木元グループは、90年天皇決戦以降、権力による破防法をもちらつかせた組織壊滅恫喝にすくみ

上がり屈服一路線転換による延命願望を強めていた。そして直接的には、98年5月に発生した権力と反共ファシスト宗団(明大ゴスペル)が一体となった闘う労働者・学生への襲撃、逮捕―長期拘禁攻撃に屈服し、権力・ファシスト宗団・明大資本との和解・共存へとひた走り闘う隊列から脱落していった。そして、ひとたび脱落するや明生協労働者であり柿沼同志とともにプロレタリア統一戦線の誇るべき先達であった荻野同志の襲撃―虐殺を手始めに柿沼同志を含む5名の革命的同志を次々に虐殺していった。

柿沼同志と女性同志への襲撃は、衆人環視のなか鋭利な刃物を使用してのものであった。権力の加護を自覚したうえで“虐殺のための虐殺”に手を染めたのである。

この官許の襲撃・虐殺を通し木元グループは反

革命転落を一気に加速させていく。われわれは腹の底からわきあがる怒りを抑えることはできない。

また、同時に神奈川県警は柿沼同志虐殺に加担するだけではなく重傷を負わされた女性同志を弾圧・監視下におき、医療妨害をおこない抹殺策動を繰り返した。木元グループによる虐殺襲撃と一体となった権力の同志抹殺策動を断じて許すことはできない。

本年1月24日、昨年2月の6名に続き新たに2名の木元グループ白色テロリストが権力により保護・回収された。この間の一連の事態を通して明らかとなった白色テロ部隊の惨状は木元グループ総体の瓦解状況を何よりも雄弁に物語っている。組織崩壊の危機にのたうつ木元グループの新たなテロ策動を粉碎しよう。この機を逃さず解体・根絶の闘いをさらに強化しよう。

◆右翼ファシストの襲撃・破壊と対決し粉碎しよう！ 三里塚・沖縄の闘いに連帯し安倍連合政府を打倒しよう！

米帝におけるトランプの登場は全世界的規模で右翼ファシスト勢力をさらに勢いづけている。日帝足下においても反天皇制の闘いに対する権力と一体となった暴力襲撃にも見られるように、労働者人民の闘いに対する公然たる襲撃破壊へと踏み込んでいく。右翼ファシストの労働者人民への襲撃、被差別大衆・被抑圧人民への差別主義・排外主義襲撃を断じて許すな。闘いへの敵対・破壊と真正面から対決し粉碎しよう。

安倍連合政府は戦争・ファシズム―改憲攻撃を推し進め、天皇「元首化」にむけた突撃を強めている。昨年天皇アキヒトの「生前退位」発言を契機とした天皇制護持・強化の攻撃を粉碎しよう。反革命統合機軸として天皇(制)を前面に押し出す安倍―日帝支配階級のもくろみを粉碎し、天皇制廃絶に向け今こそ立ちあがろう。

アキヒトは皇后ミチコを連れ立ち明日にもベトナム・タイへの訪問を強行しようとしている。改憲―元首化を見据え、みずから先頭に立って日帝の戦争・進出を領導するためのベトナム・タイ訪問を断固粉碎しよう。

反戦・反権力の砦＝三里塚闘争が新たな決戦局面を迎えている。三里塚-天神峰現地に結集しNAA(成田空港会社)と日帝政府による空港反対同盟・市東孝雄さんの農地強奪―戦時徴発を実力で阻止しよう。反対同盟の呼びかけにこたえ3・2「請求異議審」闘争から3・26全国総決起集会の爆発へと攻めのぼろう。今春三里塚決戦の実力・武装進撃をともにかちとろう。

沖縄一辺野古・高江現地では警察・海上保安庁の弾圧・テロと対決し連日の闘いがうちぬかれている。日米安保に怒りを燃やし、全ての基地・軍隊の撤去に向け闘う沖縄労働者人身と連帯し帝国主義軍隊解体・基地解体の革命的反戦闘争を爆発させよう。天皇の赤子＝同化主義反革命革マルを権力・ファシストもろともなぎ倒し闘おう。

激化する治安弾圧と対決し、三里塚・沖縄の戦闘的な闘いに結びつき安倍連合政府打倒の実力・武装闘争とともに立ちあがろう。共謀罪が名を変えた戦前治安維持法に匹敵する治安弾圧立法―「テロ等準備罪」の新設を断じて許すな！実力の闘いで粉碎しよう。

国家権力の強制収用を許すな！はね返そう！

3・2市東さん「請求異議裁判」・デモ

場所 千葉市中央公園 9時集合→デモ / 10時30分～千葉地裁弁論